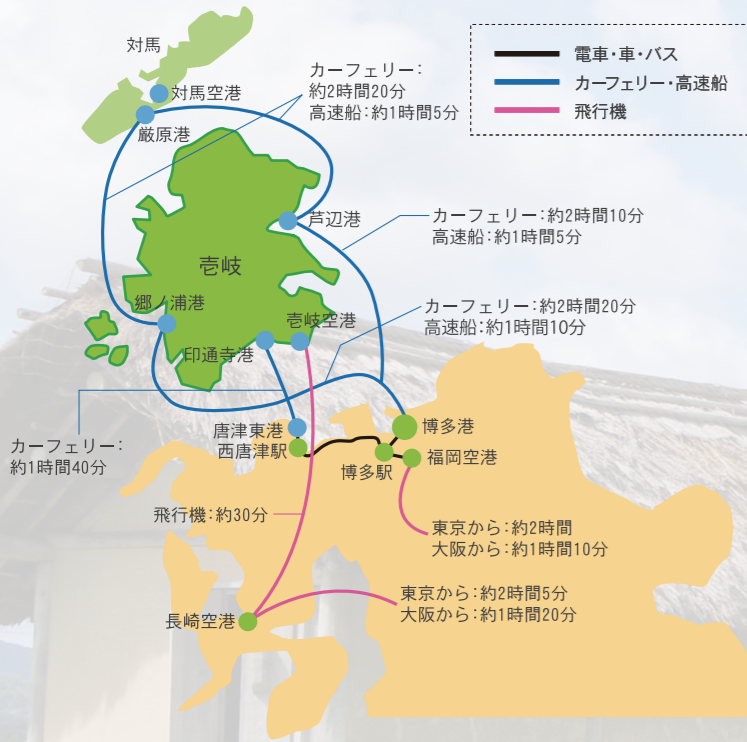


■ 壱岐市へのアクセス



海からのアクセス

九州郵船株式会社

本社 / 福岡市博多区神屋町1-27 TEL092-281-0831
 博多発着所 (バイサイドプレイス博多埠頭) / 福岡市博多区築港本町13-3 TEL092-281-6636
 郷ノ浦港 / 壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦281-6 TEL0920-47-0003
 芦辺港 / 壱岐市芦辺町箱崎中山触2575-22 TEL0920-45-3011
 印通寺港 / 壱岐市石田町印通寺浦196 TEL0920-44-5015
 唐津発着所 / 佐賀県唐津市東大島町2-52 TEL0955-75-7750
 東京事務所 / 東京都千代田区富士見2-7-2 TEL03-3222-5051
 ステージビルディング17階 1703号室
 大阪事務所 / 大阪市福島区海老江5-2-2
 TEL06-6343-2188

空からのアクセス

オリエンタルエアブリッジ

ORC予約センター TEL0570-064-380
<https://www.orc-air.co.jp>
 [営業時間] 8:00~18:00

■ お問い合わせ



国指定特別史跡「原の辻遺跡」を展示の一部として取り入れたビューシアター、復元された古代船、市民の顔をモデルに160体の人形で原の辻の生活を再現した一支国トピックなどがある展示室内には発掘された本物の土器などに触ることもでき、体感しながら楽しく学べる見応えのある博物館です。

壱岐市立一支国博物館

〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
 TEL. 0920-45-2731 FAX. 0920-45-2749
<http://www.iki-haku.jp/>

壱岐市教育委員会社会教育課文化財班

〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
 TEL. 0920-45-2728 FAX. 0920-45-2829

壱岐市東京事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号 新東京ビル2階
 TEL. 03-5962-9906 FAX. 03-5962-9907

一般社団法人壱岐市観光連盟

〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触620番地1
 TEL. 0920-47-3700 FAX. 0920-47-5302
<https://www.ikikankou.com/>

壱岐市役所企画振興部観光課

〒811-5192 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触562番地
 TEL. 0920-48-1130 FAX. 0920-48-1120
<https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

※本誌は、壱岐市教育委員会社会教育課文化財班監修の資料に基づき一般社団法人壱岐市観光連盟で製作しております。



日本遺産第一号認定 日本遺産の島

壱岐

国境の島「壱岐・対馬・五島」～古代からの架け橋～



【日本遺産認定ストーリー】

日本本土と大陸の間に位置することから、長崎県の島は、古代よりこれらを結ぶ海上交通の要衝であり、交易・交流の拠点でした。

特に、朝鮮半島との関わりは深く、壱岐は弥生時代、海上交易で一支国(いきこく)として栄え、対馬は中世以降、朝鮮王朝との貿易と外交実務を独占し、中継貿易の拠点や迎賓地として栄えた歴史が残っています。

経済や交通の発展により、交易・交流の拠点としての役割は希薄になりましたが、古代の史跡や城跡、庭園等は当時の興隆を物語り、焼酎や麺類等の特産品、民俗行事等においても日韓交流の痕跡が窺えます。

国境の島ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、連綿と交流が続くこれらの島は、国と国、民と民の深い絆が感じられる稀有な地域であることから日本遺産に認定されました。

【日本遺産とは何?】

地域の歴史的な魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを国が日本遺産として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な文化財群を国内外に発信することにより、地域の活性化を図るものです。本資料ではストーリーを構成する壱岐の文化財10点をご紹介します。

(全体では、対馬・壱岐・五島列島の27の文化財で構成されています)

日本遺産の島「壱岐」
特集コンテンツ

<https://www.ikikankou.com/feature/nihonisan>
壱岐市の観光情報は「壱岐観光ナビ」で検索!





勝本城跡

国指定史跡

豊臣秀吉が朝鮮出兵〔文禄・慶長の役〕の際に築城した出城で、国の史跡に指定されています。壱岐島の最北端に位置する勝本の城山に、松浦鎮信（平戸）が中心となり、有馬晴信（高原）、大村喜前（大村）、五島純玄（五島）などの領主の協力によって築城されました。勝本城は、朝鮮半島に渡る兵士の食糧や武器などを補給する軍事基地の役割を果たしました。



壱岐古墳群

国指定史跡

壱岐島内には、長崎県全体の約6割の古墳があります。280基の古墳のうち200基以上の古墳は6世紀後半から7世紀前半〔今から約1400年前〕に築造されました。首長クラスの古墳の石室内からは、中国大陸や朝鮮半島の国々から認められていたことを物語る遺物が多数発見されており、海外の国々と精通した有力者が島内に存在していたことを物語っています。



双六古墳（そうろくこふん）出土品

国指定重要文化財

双六古墳からは、中国の北齊で製作された日本最古の二彩陶器、新羅で製作された土器、国内では2例しか発見されていない半円形のガラス製の蜻蛉玉などが発見されており、中国大陸や朝鮮半島との親交が深かったことがわかります。出土した資料のうち412点は国の重要文化財に指定されています。



笹塚古墳出土品

国指定重要文化財

笹塚古墳は、基壇の上に墳丘を重ねた2段築造でつくられています。基壇となる部分は直径70メートル、高さ3メートル、墳丘の部分は直径40メートル、高さ10メートルです。笹塚古墳からは亀形飾金具をはじめ、杏葉、雲珠、辻金具といった金銅製の馬具類が数多く発見されています。馬具以外にも新羅土器が発見されており、朝鮮半島とのつながりを知ることができます。出土した資料のうち、162点は国の重要文化財に指定されています。



海都くん



はるのちゃん

生池城跡（なまいけじょうあと）

市指定史跡



16世紀中ごろに松浦党の1人だった源壹（みなものいち）が築城した山城で、居城があった山頂を中心に二重の空堀や土橋を見ることができます。生池城を居城とした源壹は、朝鮮王朝からの信頼も厚く、正式な交易が認められていたことが記録に残っています。また、1539（天文8）年に安国寺が行った「高麗版大般若経」の補修記録にも源壹の名前が記されています。



岳ノ辻

壱岐島最高峰（212.8m）の山で、頂上には古代より烽火台や遠見番所が設置され、国防の要衝として重要な役割を果たしてきました。山頂には、1889（明治22）年5月に海軍水路部によって設置された「緯度測定標」があります。当時設置された緯度測定標のうち現存するのは岳ノ辻にある標石とここから眺望できる馬渡島〔佐賀県唐津市〕の番所の辻にある標石の2箇所だけであり標石に刻まれた設置年の銘から岳ノ辻の標石が国内で最も古い事例であることがわかります。

壱岐市公認キャラクター
人面石くん



市指定史跡

カラカミ遺跡

原の辻遺跡と共に栄えた弥生時代〔今から約2000年前〕の環濠集落跡です。カラカミ遺跡は、交易を通じて様々な鉄製品や鉄素材を入手し、国内各地に鉄製品を供給する中継基地としてだけでなく、弥生時代を代表する鉄器生産の鍛冶工房として存在し東アジア交易において重要な役割を果たしていた当時の様相を窺い知ることができます。



内海湾（うちめわん）

内海湾は、「一支国」の王都・原の辻を訪れる古代船が往来した玄関口です。江戸時代末期の1861（文久元）年に書かれた「壱岐名勝図誌」にも内海湾の様子が挿絵で描かれており内海湾に多くの船が往来していたことが記録に残っています。また、湾内には、小島神社へむかう通路が干潮時にのみ海中から現れる神秘的な島も存在し、時代を問わず人を魅了する場所となっています。



国指定特別史跡

原の辻遺跡（はるのつじいせき）

長崎県で2番目に広い平野である深江田原（ふかえたばる）にある原の辻遺跡は、弥生時代から古墳時代の初め〔今から約2200年前から1650年前〕に栄えた国内を代表する弥生時代の環濠集落跡で、国の特別史跡に指定されています。中国の歴史書『三国志』の中の「魏志倭人伝」に壱岐島は一支国として登場し、弥生時代における最先端の交易拠点として重要な役割を果たしていました。

原の辻遺跡出土品

原の辻遺跡からは10万点以上の遺物出土しており、その中の1670点が国の重要文化財に指定されています。海を越えて「一支国」に持ち込まれた日本最古の蜻蛉玉、馬車に取り付ける青銅製の部品、棹秤に用いる青銅製の錘、国内唯一の人面石をはじめ、中国大陸や朝鮮半島で製作された土器や使われていた銅銭など、“東アジアとの交流の歴史”を物語る資料が数多く発見されています。



国指定重要文化財